

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 316 号	氏名	井川一成
学位審査委員	主査 根本 孝幸 副査 原 宜興 副査 中山 浩次		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 渡来系弥生人の遺跡である山口県下関市の土井ヶ浜遺跡について、同遺跡を構成した弥生人集団の系統関係、社会構造の検証を試みたもので、目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 考古学的・形態人類学的手法に加え、土井ヶ浜遺跡でははじめて DNA 解析による遺伝学的手法による検証がなされている。古人骨試料の場合、問題となりうる DNA の汚染についても対策がなされており、手法についても妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、渡来系弥生人集団における土井ヶ浜弥生人の特殊性、東アジア古集団との関係性について明らかにされており、渡来系弥生人の源郷、現代日本人の形成過程への関与について検証するうえで資料的価値が高く、人類学的諸問題に対して、学際的に検証を進める研究事例として、今後の研究進展が期待される。</p> <p>以上のように本論文は基礎歯科医学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			